

二〇一九年八月二二日の横浜市
長記者会見で、横浜市はIR(統合型
リゾート)を誘致し、横浜港山下埠頭
(同市中区)四七ヘクタールを候補地
とし、二〇二〇年代後半の開業を目
指すと発表がありました。

山下埠頭は横浜港の中心に位置し
ます。元町・中華街・山下公園とい
う既存都市組織と連続し、大棧橋に
対面するという、横浜港全体の計
画にとって極めて重要な場所です。
また山下埠頭のみならず横浜港
全体をどう使うかということは、
横浜市民の未来の生活に重要な
影響を与えます。

横浜港全体計画は、これまで横浜市
民や専門家と積み重ねてきた十分な
実績があります。私たち建築・都市
の専門家は横浜の未来に対する提案
をしたいと考えます。百年先を見据
え話し合う時間は十分あります。

「横浜インナーハーバー」 学生プロジェクト発表会

12月18日(水)
17:30-21:00

開場17:00 参加費 無料

神奈川大学大学院デザインコース
関東学院大学柳澤研究室
横浜国立大学大学院Y-GSA

「横浜の未来」シンポジウム

12月19日(木)
18:00-21:00

開場17:30 参加費950円(学生無料※要学生証)

司会：藤原徹平
(横浜国立大学大学院Y-GSA准教授、建築家)

報告：「ヨコハマ都市デザイン」
北山恒(法政大学教授、横浜国立大学名誉教授、建築家)
座談会：「横浜の未来」
金子勝(立教大学大学院特任教授、経済学者)
木村草太(首都大学東京教授、憲法学者)
山本理顕(名古屋造形大学学長、建築家)

横浜の

2019.12.18^{WED}-19^{THU}
横浜市開港記念会館

主催：横浜の未来コンソーシアム

飯田善彦、石田敏明、乾久美子、内田青蔵、大西麻貴、北山恒、小泉雅生、櫻井淳
佐々木龍郎、鈴木伸治、曾我部昌史、田井幹夫、高橋一平、寺田真理子、中井邦夫
中津秀之、西倉潔、西沢立衛、西田司、藤原徹平、柳澤潤、山家京子、山本理顕

特別協賛：総合資格学院 後援：公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 神奈川地域会

来場特典：【建築家推奨!学生時に読むべき一冊】を無料プレゼント

お問合せ：「横浜の未来コンソーシアム」事務局 mail:mirai.yokohama.c@gmail.com

未来

「横浜インナーハーバー」 学生プロジェクト発表会

12月18日(水) 17:30-21:00
開場17:00 参加費 無料

17:30 学生プロジェクトについて
曾我部昌史(神奈川大学教授、建築家)
柳澤潤(関東学院大学准教授、建築家)
西沢立衛(横浜国立大学大学院Y-GSA教授、建築家)

17:45 学生によるプロジェクト発表
神奈川大学大学院デザインコース
関東学院大学柳澤研究室
横浜国立大学大学院Y-GSA

20:50 終わりに

横浜 の 未 来

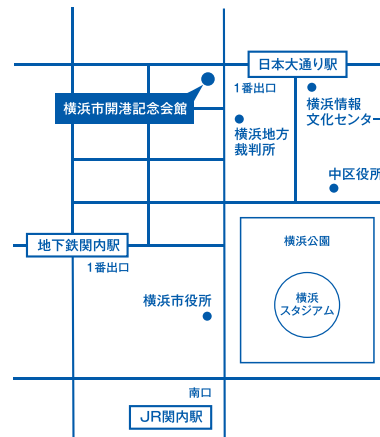
「横浜の未来」シンポジウム 12月19日(木) 18:00-21:00

開場17:30 参加費950円(学生無料※要学生証)

17:30 開場
18:00 はじめに: 山本理顕(名古屋造形大学学長、建築家)
18:15 報告:「ヨコハマ都市デザイン」北山恒(法政大学教授、横浜国立大学名誉教授、建築家)
18:35 プレゼンテーション: 金子勝(立教大学大学院特任教授、経済学者)
18:55 プレゼンテーション: 木村草太(首都大学東京教授、憲法学者)
19:20 座談会:「横浜の未来」登壇者: 金子勝、木村草太、山本理顕
司会: 藤原徹平(横浜国立大学大学院Y-GSA 准教授、建築家)
20:30 質疑・応答
20:50 終わりに: 柳澤潤

会場:横浜市開港記念会館
〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町1-6

アクセス: JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口
から徒歩10分、市営地下鉄線「関内駅」1番出口
から徒歩10分、みなとみらい線「日本大通り駅」
1番出口から徒歩1分



北山恒(法政大学教授、横浜国立大学名誉教授、建築家)

1950年生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。1995年architecture WORK-SHOP設立主宰。横浜国立大学大学院Y-GSA教授を経て、2016年より法政大学建築学科教授。横浜市都心臨海部・インナーハーバー整備構想に参画。「洗足の連結住棟」で日本建築学会賞。著書に「都市のエージェントはだれなのか」(TOTO出版)、「モダニズムの臨界」(NTT出版)など。

金子勝(立教大学大学院特任教授、慶應義塾大学名誉教授、経済学者)

1952年生まれ。1980年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了(単位取得退学)。2018年より現職。近著に『平成経済 衰退の本質』(岩波新書)、『日本病 長期衰退のダイナミズム』(共著、岩波新書)など。「経済サブリ」(共同通信)、ダイヤモンド・オンラインなど連載多数。「朝まで生テレビ」や「大竹まことゴールデンラジオ」などのメディアに出演。

木村草太(首都大学東京教授、憲法学者)

1980年生まれ。東京大学法学部卒。助手、首都大学東京准教授を経て、現在、首都大学東京教授。著書に「平等なき平等条項論」(東京大学出版会)『憲法の急所』(羽鳥書店)、『憲法の条件——戦後70年から考える』(NHK出版新書)、『子どもの人権をまもるために』(編著、晶文社)、『自衛隊と憲法』(晶文社)など。

山本理顕(名古屋造形大学学長、建築家)

1945年生まれ。名古屋造形大学学長。東京藝術大学大学院修了。1973年山本理顕設計工場設立。横浜国立大学大学院Y-GSA教授を経て現職。主な作品に埼玉県立大学(1999)、横須賀美術館(2007)、子安小学校(2018)など。主な著書に「脱住宅」(共著、平凡社)、『権力の空間/空間の権力』(講談社選書メチエ)、『地域社会圏主義増補改訂版』(LIXIL出版)。

藤原徹平(横浜国立大学大学院Y-GSA准教授、建築家)

1975年横浜生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。2001~12年限研吾建築都市設計事務所勤務。2012年より横浜国立大学大学院Y-GSA准教授。フジワテツペイアーキテクトラボ主宰、一般社団法人ドリフターズインターナショナル理事、宇部ビエンナーレ審査員・展示委員。2018年横浜文化賞 文化・芸術奨励賞受賞。

柳澤潤(関東学院大学准教授、東京工業大学特任准教授、建築家)

1964年生まれ。1992年東京工業大学大学院修士課程修了。2000年コンテンポラリーズ設立、主宰。2016年より関東学院大学建築・環境学部准教授。東京工業大学特任准教授。主な作品に、みちの家(2005)、ルネヴィレッジ成城(2010)、京浜急行高架下スタジオA(2010)、えんば〜く(2010)、日野こもれび納骨堂(2018)など。